

第1号議案：令和5年度事業報告について（案）  
令和5年4月1日～令和6年3月31日  
（特定非営利活動にかかる事業）

（1）概要

川崎市地球温暖化防止活動推進センター（以下、「川崎市センター」）は、CCかわさき交流コーナーを拠点として、4半期ごとに異なる視点からの温暖化や脱炭素について展示や講座、日常的な交流・発信を行い、市民への普及啓発と行動変容のきっかけを訴求してきた。展示テーマは、「エシカル消費」「気候危機と防災」「脱炭素（アートを含む）」「住まいと断熱」と生活実態に深く関係するテーマとし、温暖化や脱炭素をジブンゴト化するきっかけづくりとした。また、身近なデコ活アクションとして、「おさがりボックス」「文具交換ボックス」等多くの市民に認知され活用されている。

推進員プロジェクトの環境出前講座（川崎市センター含む）は、昨年度を大きく上回る9,810人の小中高生・大人に向けての環境出前講座の実績を達成し、センターとしてそのサポートに当たった。特に、新たにこども文化センター、寺子屋を対象に環境講座を展開するに至ったが、その実施に向けてターゲット別の講座の設定は、プロジェクトとの協働の賜物といえる。

また、推進員が各区で活動する母体となる各区推進員団体は、センター開設当初から活動する団体を補完する新たな団体が2区で誕生するなど、活動の活発化が目立った。脱炭素キャンペーンは、昨年度に引き続き展開し、そのうちの1区では商店街との協働も実現できた。

「かわさき環境フォーラム」の開催や「夏休み自由研究週間」など、多くの市内小学生と保護者を中心に関心と参加意欲の高まりを感じた。様々な事業者、市民団体、行政からの脱炭素・環境への行動変容を促す体験講座が充実しており、参加者の満足度も高く、今後の行動変容に期待が持てる。

脱炭素アクションみぞのくちへのアプローチとして、脱炭素アクションみぞのくち新事業推進補助金事業に申請、採択され、インパクトのある脱炭素サインが完成し活用に至っている。また、独自の視点で溝の口近辺の参加事業者の取組見学会を実施したところ、しっかりと市民に発信が出来、参加者、参加事業者ともに満足度の高いものとなったので、今後も継続していきたい。

情報発信の面で新たな取組みとして、XによるSNSキャンペーンを実施し、事業者の協力を得て拡散・募集を行った。まだ十分な成果は見えていないが、SNSは重要な広報ツールとして今後も引き続き活用し、発信をしていきたい。

中小事業者向け脱炭素経営「炭素の見える化」事業も2年目となったが、14事業者と連携し事業者の脱炭素経営を推進した。

川崎市が今年100周年を迎えるにあたって、川崎臨海部の大規模な転換が進んでいることから、「川崎臨海部フォーラム」を開催し、多数の参加者と今後の川崎臨海部の未来と脱炭素、それぞれの役割について考える機会を得ることが出来た。

今季も川崎市地域環境リーダー育成講座及び川崎市ごみゼロカフェ事業を受託運営した。地域環境リーダー育成講座は、受講生約20名の参加を得て充実した内容とグループワークを実施でき、環境関連人材の育成が進んだ。川崎市ごみゼロカフェ事業は、3回開催し、それぞれ学びと体験を組み合わせた内容でごみ減量の意識啓発に多いに役立ったと考える。

（2）事業内容

事業を以下の5区分に分け、各業務に該当する事業No.を振った。

事業1	事業2	事業3	事業4	事業5
川崎市脱炭素戦略推進事業	リーダー講座	ごみゼロカフェ	環境省補助事業	自主事業
10,077千円	1,035千円	640千円	12,309千円	1,203千円

1) 環境保全に係る普及啓発及び相談助言

①交流コーナーを活用した相談対応、普及啓発等に係る業務

事業1

内 容	交流コーナーを管理運営、地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供及び展示コーナーを活用した普及啓発など		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー	従事者人員	12人
対象者	川崎市民、事業者	費 用 額	7,627千円

②二酸化炭素排出抑制対策事業

事業4

内 容	地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供、地球温暖化対策に関する相談・普及啓発など		
日 時	2023年6月1日（補助金交付決定日）～2024年2月29日		
場 所	CCかわさき交流コーナーほか	従事者人員	10人
対象者	川崎市民、事業者	費 用 額	2,971千円

③“脱炭素アクションみぞのくち” 広報事業

事業5

内 容	“脱炭素アクションみぞのくち”の認知度を高めるため、「脱炭素アクションみぞのくち新事業推進補助制度」を活用し、脱炭素展示を行う。		
日 時	2023年7月～2024年1月31日		
場 所	CCかわさき交流コーナーほか	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	1,103千円

2) 環境保全活動を行う個人・団体の支援並びに交流及び連携の促進

①推進員の活動支援等に関わる業務

事業1

内 容	推進員委嘱式・研修・交流会の開催及びデータベース作成・管理など		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー・高津市民館他	従事者人員	6人
対象者	川崎市地球温暖化防止活動推進員	費 用 額	730千円

②地域における地球温暖化防止実践活動の推進に係る業務

事業1

内 容	プロジェクト連絡調整会議開催運営・支援、イベント参加時の協力など		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、高津市民館他 市内各イベント会場他	従事者人員	3人
対象者	川崎市民・川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクト	費 用 額	860千円

3) 多様な主体間の連携推進、行政とその他主体との協働の推進

①地球温暖化防止活動ネットワーク連携強化に係る業務

事業1

内 容	CC川崎エコ会議の運営・開催補助、川崎市地球温暖化防止活動推進センター運営会議の運営・開催、CCかわさきホームページの運営、メールマガジンの発行、脱炭素社会に向けたネットワーク作りなど		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、川崎市役所他	従事者人員	6人
対象者	CC川崎エコ会議メンバー・川崎市民	費 用 額	560千円

②かわさき環境フォーラムの開催

事業4

内 容	「かわさき環境フォーラム」の実施		
日 時	2023年12月10日		

場 所	高津市民館	従事者人員	12人
対象者	川崎市民	費 用 額	510千円

③地域における中小企業の地球温暖化防止活動促進事業 事業4

内 容	川崎市内の中小企業の「炭素排出量の見える化」を軸とした「脱炭素な事業支援の仕組み」を構築		
日 時	2023年6月1日～2024年2月29日		
場 所	川崎市内	従事者人員	3人
対象者	中小企業	費 用 額	5,120千円

④川崎臨海部フォーラムの開催 事業4

内 容	川崎市内の団体・事業者と連携し、大転換を図る川崎臨海部の動きと事業者・市民の役割について考える場を創出		
日 時	2023年6月1日～2024年2月29日		
場 所	川崎市内	従事者人員	10人
対象者	川崎市民、事業者	費 用 額	508千円

4) 環境学習・環境教育の企画運営及び環境保全活動の指導者育成

①川崎市地域環境リーダー育成講座企画運営業務 事業2

内 容	全講座の企画・運営・実施及び修了後のスキルアップ・交流会開催など		
日 時	2023年6月1日～2024年1月31日（全8回）		
場 所	高津市民館、ほか	従事者人員	6人
対象者	川崎市民 受講生20名	費 用 額	1,035千円

②川崎市民を対象とした、ごみゼロカフェの企画・運営 事業3

内 容	ごみ減量・資源循環の普及啓発のため、ごみゼロカフェの企画運営を行う		
日 時	2023年8月31日～2024年3月29日		
場 所	川崎市内	従事者人員	3人
対象者	川崎市民	費 用 額	640千円

5) 環境保全に係る調査研究及び情報提供

①二酸化炭素排出抑制対策事業 事業4

内 容	温室効果ガス排出抑制等のための照会・相談・助言、排出実態の把握、分析など		
日 時	2023年6月1日～2024年2月29日		
場 所	川崎市内、CCかわさき交流コーナー	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	1,340千円

②多様な市民との連携を目指した事業 事業4

内 容	10代、20代の若者、子育て世代など多様な市民との連携できる各種の事業を行う。そのためにSNSを有効に活用する。		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日（通年）		
場 所	高津市民館、川崎市内各施設等	従事者人員	6人
対象者	川崎市民	費 用 額	760千円

6) 伝統文化等に係る活動の推進及び普及啓発  
実施していない。

7) 子どもの健全育成に係る活動の推進  
親子エコ体験クラブの実施

事業1

内 容	隔月、異なるテーマで環境講座等を実施。講座、体験講座、実験等。		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日		
場 所	高津市民館、川崎市内	従事者人員	3人
対象者	川崎市民	費 用 額	300千円

8) 持続可能な開発目標 (SDGs) の推進

SDGs 関連をはじめ多彩なプログラムで対応する出前授業及び講座

事業4

内 容	推進員プロジェクトによる出前授業の調整、センター独自の講座の企画・運営・実施		
日 時	2023年6月1日～2024年2月29日		
場 所	川崎市内小・中学校、高校、子ども文化センター、寺子屋、町内会	従事者人員	3人
対象者	川崎市民	費 用 額	1,100千円

9) 行政や社会への提案・助言

「脱炭素かわさき市民会議」プラットフォームの運営

事業5

内 容	「脱炭素かわさき市民会議」の参加者が集うプラットフォームの運営を行う。		
日 時	2023年4月1日～2024年3月31日		
場 所	川崎市内	従事者人員	2人
対象者	プラットフォーム参加者	費 用 額	100千円